

マニュアル (No.06)

◆ テキストの配置と調整の仕方 ◆

<= パターン1 =>

<- 基本的な四角い枠にテキストを配置する ->

< Ver.1.2 >

<名前データ> 260739 name.txt

<名前データ (配置用に修正)> 260739 name-s.txt

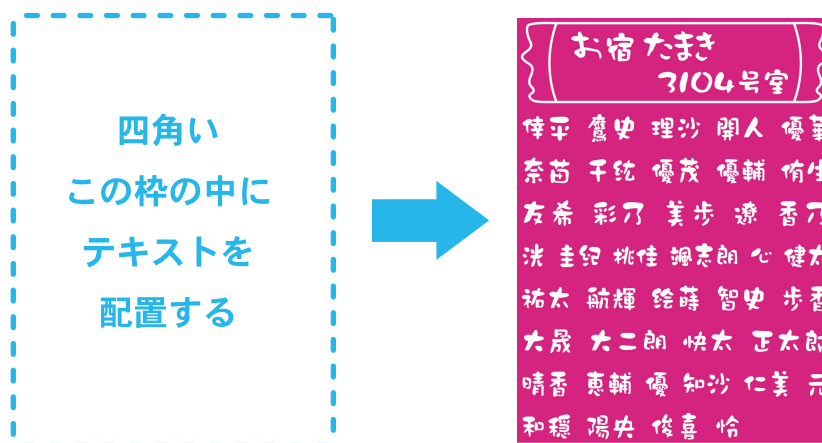
<元データ 01> 260739_01.pdf

<元データ 02> 260739_02.pdf

◆ テキストの配置と調整の仕方 ◆

< パターン1 >

<— 基本的な四角い枠にテキストを配置する —>



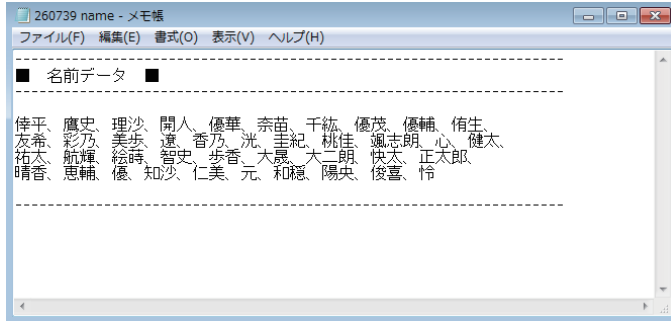
<テキストの調整基本10項目>

※トラッキングとは、文字と文字の間をあける調整のことをいう

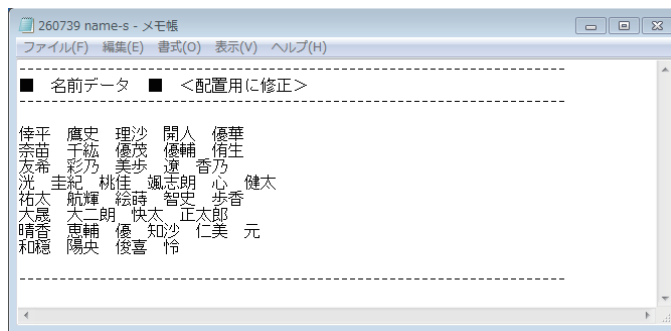
1. 文字サイズは通常は30pt以上の文字サイズにする
2. 30ptより小さい場合、縦幅（垂直比率）を調整して縦長にして、文字サイズを大きく見せる
3. 行間を空けて見やすいようにする
4. 縦幅と横幅を100%に戻してからトラッキング（※）設定をする
あまりマイナスにしすぎると文字がひつつくのでやりすぎない
-40~40くらいを目安にする
5. トラッキング（※）をして、あいだをあけすぎると読みづらくなるので、文字の横幅（水平比率）を調整する
6. トラッキング（※）をやりすぎないために、文字の横幅（水平比率）を調整する
7. 水平比率（横幅）と垂直比率（縦幅）を調整するときは115%~120%くらいがいい感じになる
あまりやりすぎないようにする
8. 名前と名前の間に少し広めのスペースをあける場合は半角スペース、または、全角スペースを入れる
9. 四角くない、円形や形の変形した枠内にテキストを入れる場合、各行の先頭の文字の前には、半角スペースを入れて調整をする
10. テキストの順番はなるべく変えないほうがいい

◆ テキストの配置と調整の仕方 ◆ < パターン1 >

- ① name フォルダの中の name.txt ファイルを、
配置用に修正する

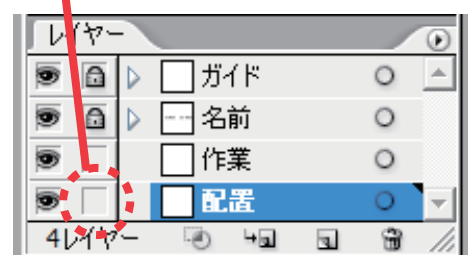


「、」を取って
1行ずつの人数を決める
この場合、名前と名前の間の
スペースは、全角スペースを
入れている



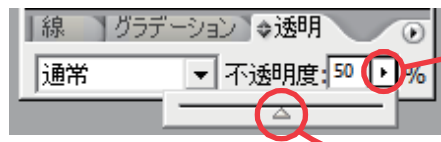
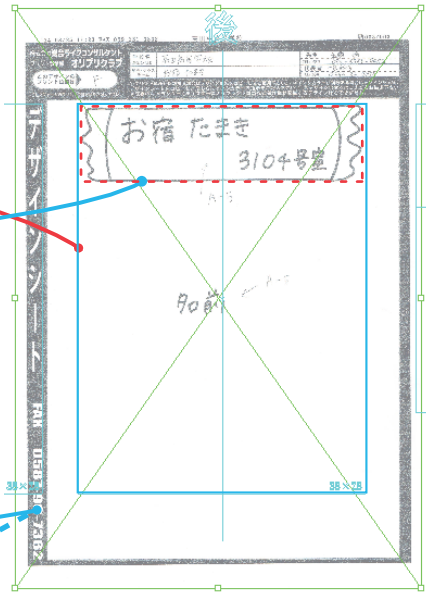
- ② ひな形の AI ファイルをコピーして名前をつけ、
配置して作業準備をする

- 1) ひな形の AI ファイルをコピーして
名前をつけたファイルをひらき、
配置レイヤーをクリックして
青色に反転させ、ここをクリックして
ロックをはずす



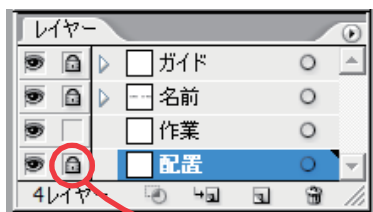
◆ テキストの配置と調整の仕方 ◆ <パターン1>

- 2) 「ファイル」→「配置」で
下絵を水色の枠に
いっぱいに入るように配置して
下絵を選んだ状態で
透明パレットで
不透明度を50%にする



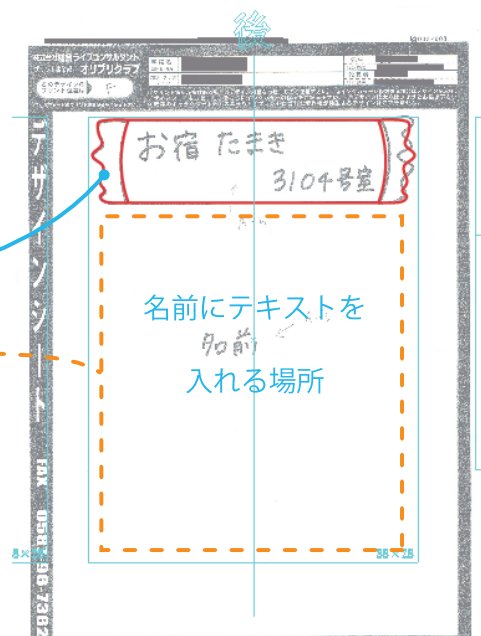
ここをクリックして
下を表示させて三角山を
中央にもっていく

- 3) もう一度、配置レイヤーをロックして、作業レイヤーをクリックして
パスのオブジェクト(絵)を
かく準備をする



- ③ 下絵をパスでトレースして
オブジェクトにする

ここでは、パスのオブジェクトを
上に配置し
その下に名前のテキストを入れる



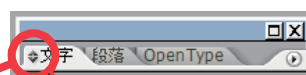
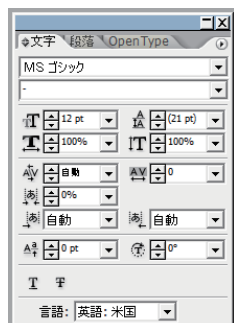
◆ テキストの配置と調整の仕方 ◆ <パターン1 >

- ④ name.txt の、配置用に修正した
テキストを選んで、
Ctrl+C でコピーして
パソコンに記憶させる



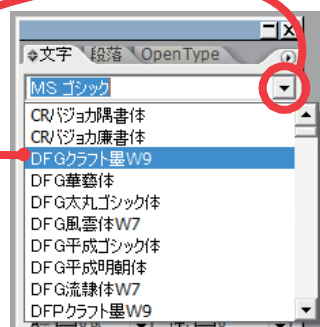
- ⑤ イラストレータにテキストを貼り付ける前に
文字の書体を設定する
書体は A-5 (DFG クラフト墨 W9) を使用する

- 1) 「ウィンドウ」→「書式」→「文字」
で文字パレットを表示する

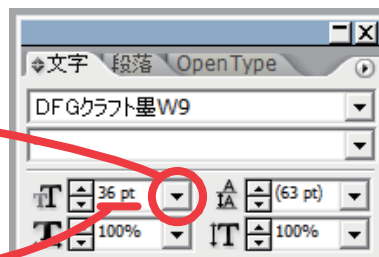


この上下の矢印を押すと
詳しい情報が表示できる

- 2) ここをクリックして
「DFG クラフト墨 W9」
を選ぶ

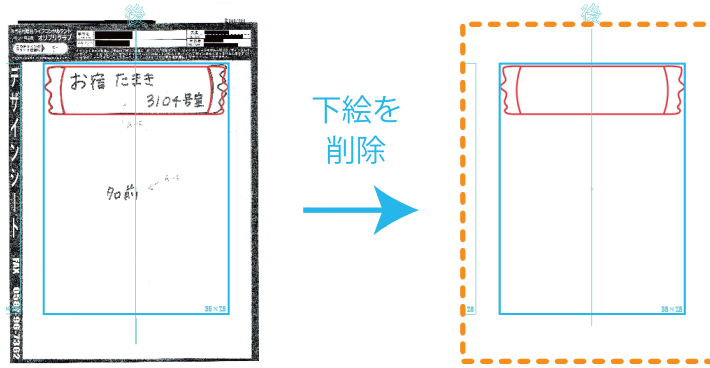


- 3) 文字の大きさを
ここをおして
かりに 36 pt
にする

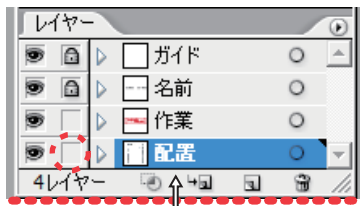


◆ テキストの配置と調整の仕方 ◆ <パターン1>

⑥ 下絵を削除する

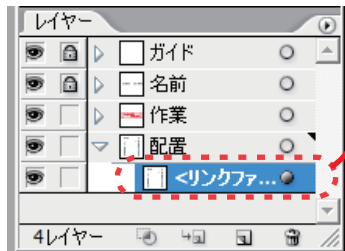


① 配置レイヤーのロックを解除して

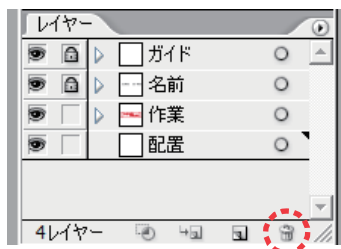


赤い破線のラインにあわせると上下の矢印が表示される

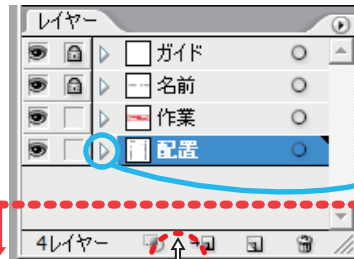
③ レイヤーの中の配置したリンクファイルをクリックして選んで



⑤ ゴミ箱の上でマウスをはなして削除する



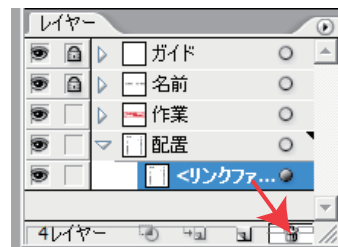
② 「レイヤー」パレットの下をマウスをおしながら、のぼす



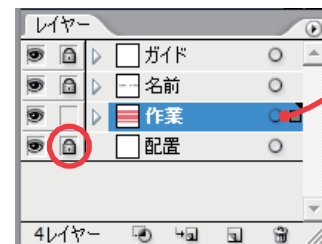
ここをクリックして、レイヤーの中を表示する③へ

ドラックして下にのぼす

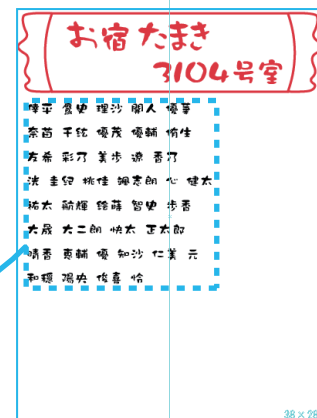
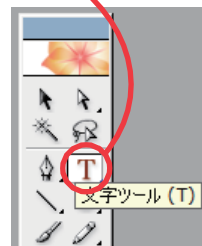
④ ゴミ箱にドラックして移動し




⑥ もう一度、配置レイヤーをロックして作業レイヤーを青く反転させる



⑦ 文字ツールを選んで、貼り付ける場所をマウスでクリックして、Ctrl+V で、貼り付ける

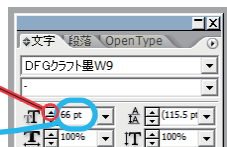


◆ テキストの配置と調整の仕方 ◆ < パターン1 >

⑧ 選択ツール () でテキストを選んだ状態で

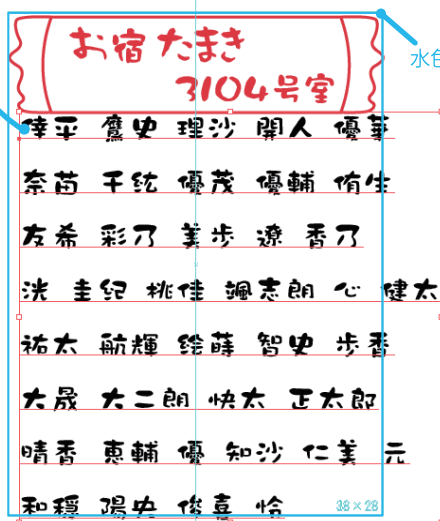
文字のサイズを66ptにして(①)、水色の枠の左側にあわせ、
右側を、少ない文字と多い文字の中間くらいに合わせる(②)

上矢印を押して
数字をふやす

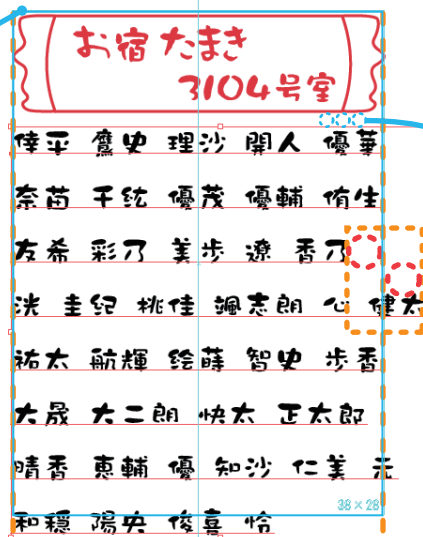


水色の枠
の左側

水色の枠
の右側



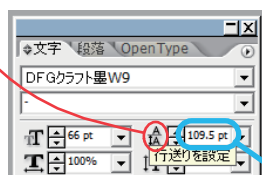
①



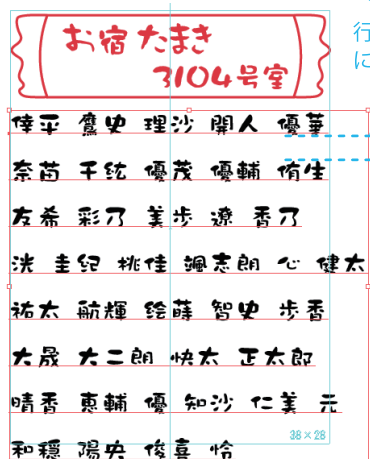
②

パスで描いたオブジェクト(絵)と
テキストのあいだに少しスペース(空白)を入れるために
キーボードの下矢印(↓)キーをおしてテキスト全体を下にさげる

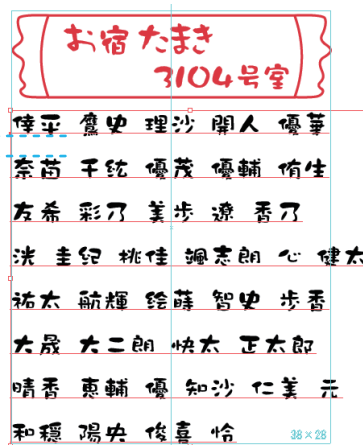
⑨ Alt を押しながらキーボードの上矢印(↑)キーを、3回くらい軽く押して
「行送り設定」を109.5ptくらいにして、行間隔をせばめ、整える



Alt を押しながらキーボードの上下の矢印(↑↓)キー
を軽く押すと、行間隔(行と行の間のスペース)が上下する

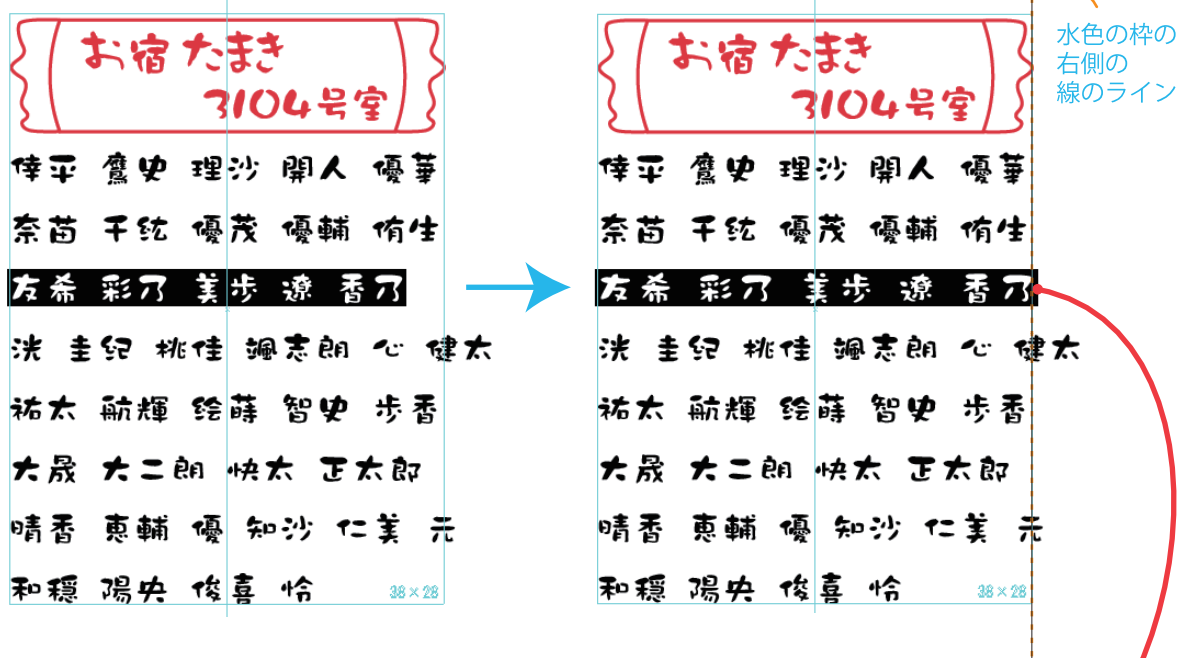


行間隔を109.5pt
にする



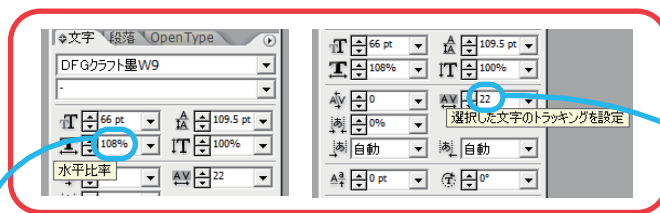
◆ テキストの配置と調整の仕方 ◆ < パターン1 >

⑩ 一行をマウスでドラッグしてえらんでから、行の文字の調整をする



1) 「ウィンドウ」→「書式」→「文字」で、文字パレットを表示する

2) この行は、
水色の枠の
右側に



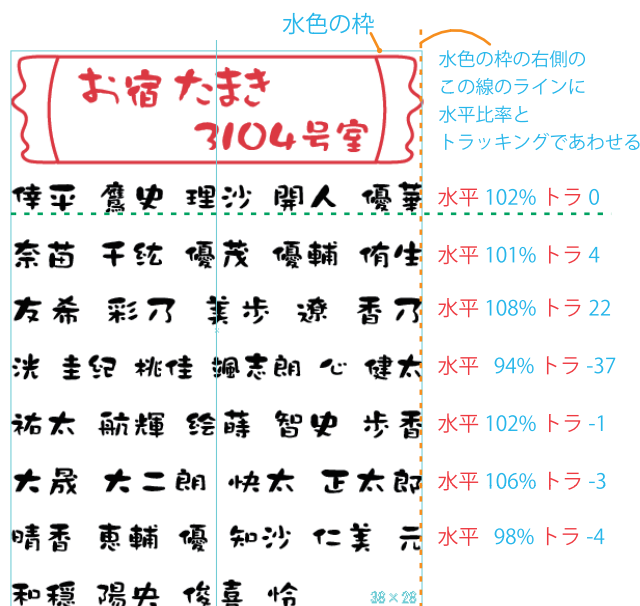
「水平比率」を 108%、文字と文字の間の幅を調整する「トラッキング」を 22 にして
あわせている

Alt を押しながらキーボードの左右の矢印(←・→)を押すと
トラッキングの設定が 20 単位で調整できる

水平…水平比率 トラ…トラッキング
水平比率：文字の横幅

⑪ 文字パレットを表示して
「水平比率」を、ここでは、
せばめるほうは、
95(94)%くらいまでで、
ひろげるほうは、
110(108)%くらい
までを目安に調整する

⑫ 文字パレットを表示して
「トラッキング」を使って、
ここでは、
-40~5(-37~4)
くらいを目安に調整する

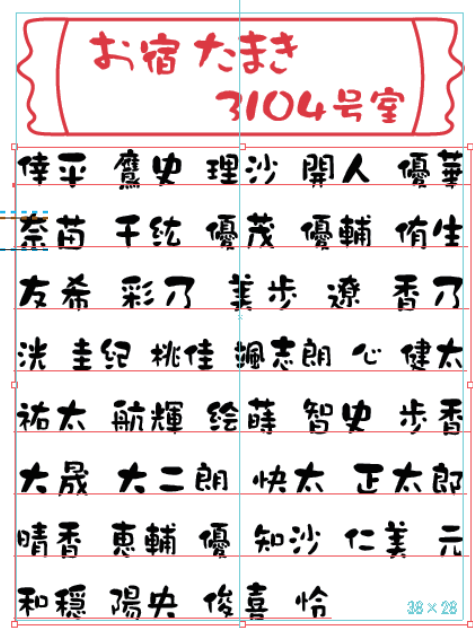
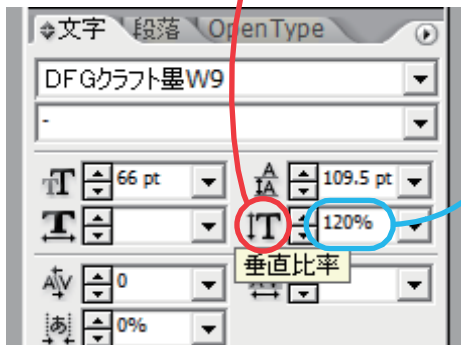


◆ テキストの配置と調整の仕方 ◆ < パターン1 >

- ⑬ 垂直比率 (文字の縦幅) を、ここでは、115%から120%くらいまでを目安に調整する。通常は115%くらいが大きさにベストな縦幅
調整する垂直比率は、全体のバランスをみて調整し、
大体、110%~150%くらい

ここでは、垂直比率は120%

文字の縦幅
(垂直比率)を
100%から
120%に設定

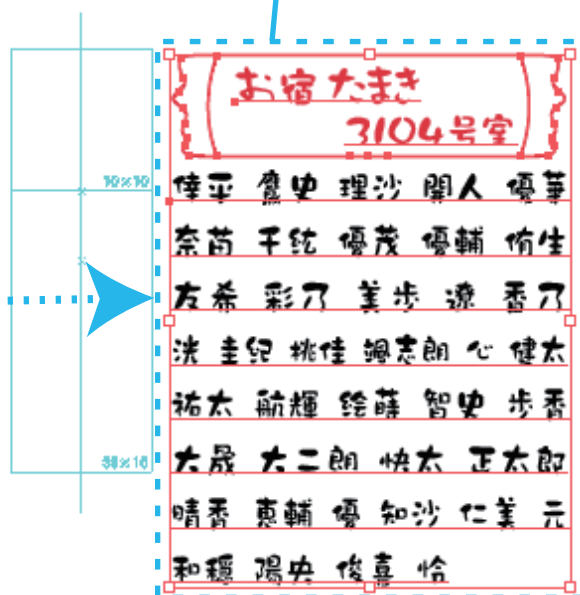


- ⑭ できたら、すべてを選択ツールで四角くかこって選んで、
Alt を押しながらドラッグして、
あいているところにコピーをとっておく



① 選択ツールで
四角くかこう

② ドラッグしてきて
この位置で Alt を押したまま
マウスをはなすとコピーができる

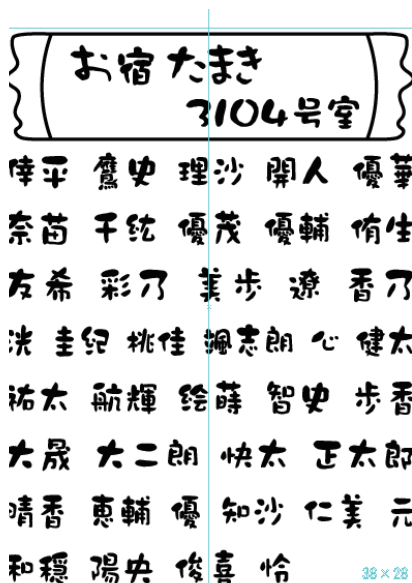
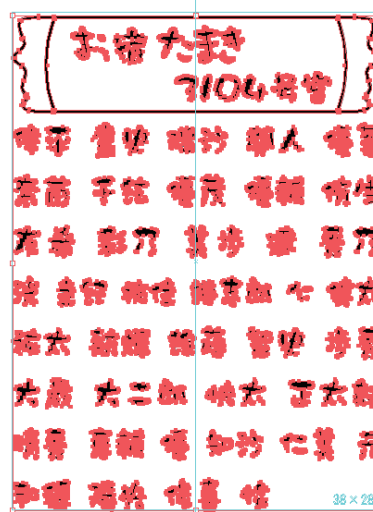
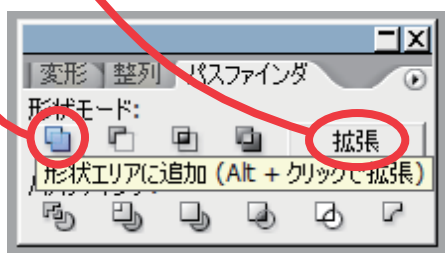


⑮ アウトライン化する

- 1) 選択ツール (☒) でテキストをすべて選ぶ
「書式」→「アウトラインを作成」で、
まず、テキストをアウトライン化する
- 2) つぎに選択ツール (☒) で
パスでかいたオブジェクト (絵) をすべて選ぶ
「オブジェクト」→「パス」→「パスのアウトライン」で、
オブジェクトをアウトライン化する
- 3) アウトライン化したオブジェクトを

選択ツール (☒) ですべて選んだ状態で
「形状エリアに追加」をおして

拡張をして合体する

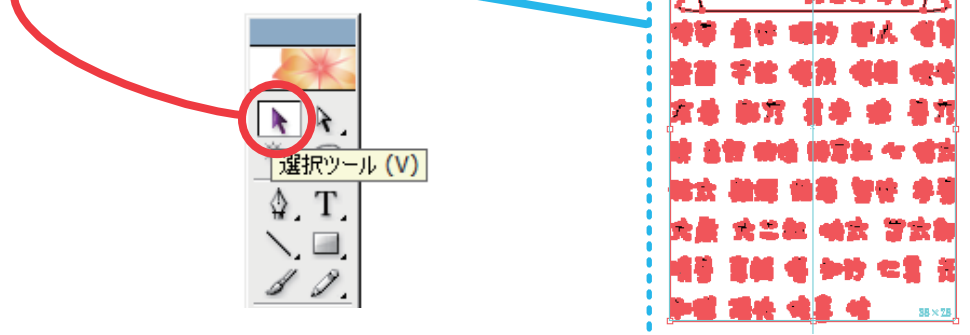


合体をすると色が1色になる

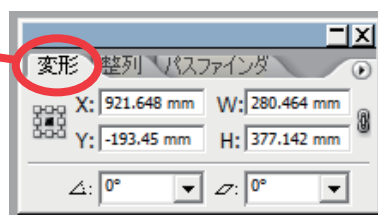
◆ テキストの配置と調整の仕方 ◆ < パターン1 >

⑩ 縦横最大（縦 380mm× 横 280mm）にする

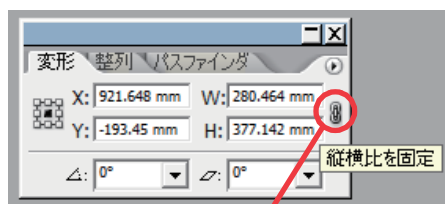
- 1) 選択ツールですべてを
四角くかこって選ぶ



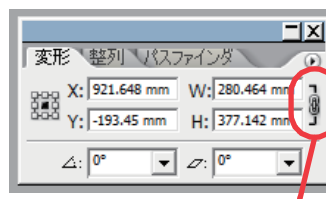
- 2) 「ウィンドウ」→「変形」パレットを表示する
または、「パスファインダ」の2つ左どりの
「変形」をクリックする



- 3) 「縦横比を固定」をしない状態にする

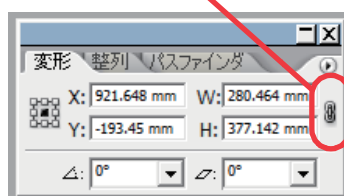


- ①ここをクリックすると



- ②縦と横の比率を固定して
大きさを変える
ことができるようになる

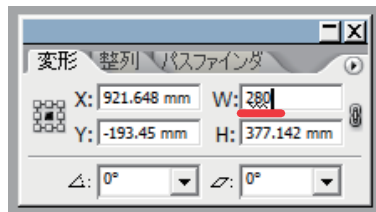
- ③今回は、縦横比を固定しない状態のままにする



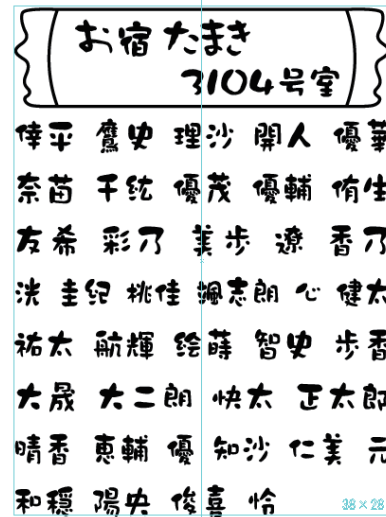
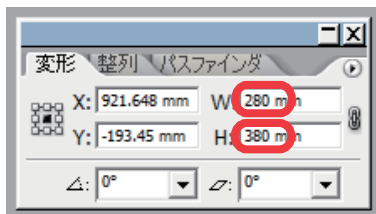
◆ テキストの配置と調整の仕方 ◆ < パターン1 >

4) W: 280 H: 380 と入力して Enter をおす

Wが横幅で、Hが縦幅

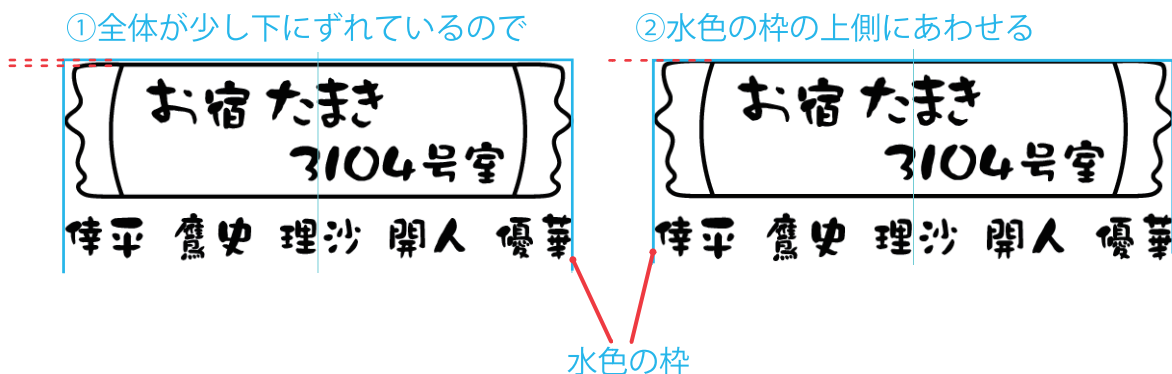


W: と H: の数字を消して
280 と 380 とキーボードから
打ち直す



横幅が 280mm に縦幅が 380mm になる

- ⑰ 水色の枠から少し下にずれているので、選択ツール (■) で
すべてを選んでから、キーボードの上矢印 (↑) キーを押し、
全体の位置を水色の枠の上にあわせる



- ⑱ 配置レイヤーをクリックして
青く反転させて、ロックを
クリックして解除する

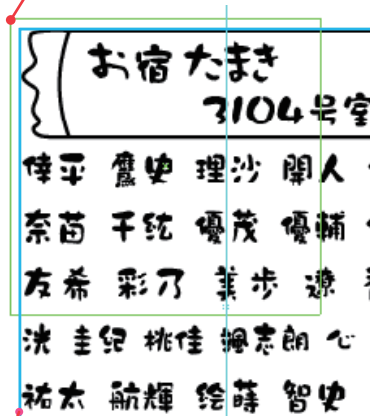


◆ テキストの配置と調整の仕方 ◆ < パターン1 >

- ①9 長方形ツールを選んで
水色の枠をひとまわり大きく四角くかこい、
長方形をかく
ここでは、
塗りの色はマゼンダにする

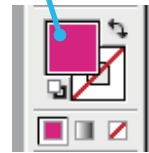


長方形ツールで水色の枠の
少し左上からドラッグしていく

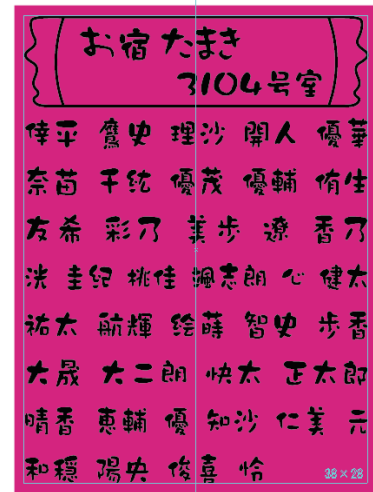


水色の枠

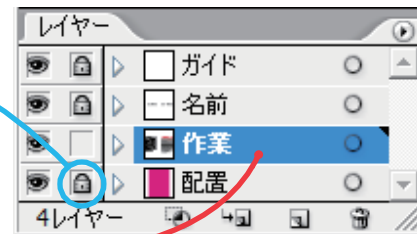
塗り



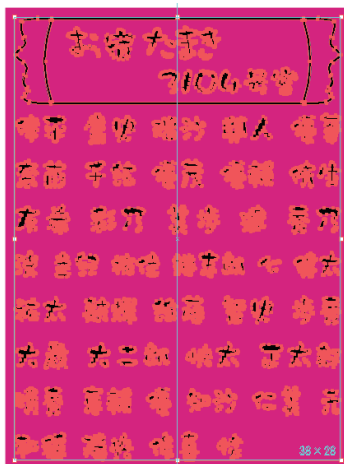
塗りをマゼンダ
にする



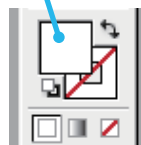
- ②0 配置レイヤーをロックして
作業レイヤーをクリックして
青く反転させる



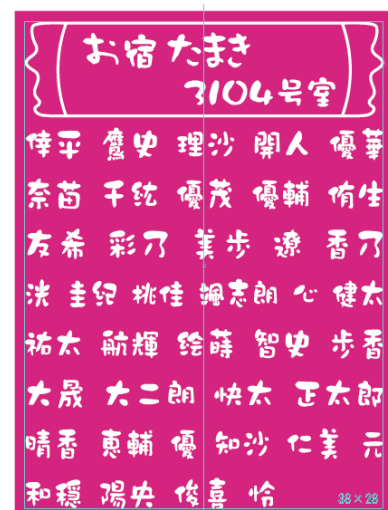
- ②1 すべてを選択ツール (☐) で
えらんでいる状態で
塗りを白色にする



塗り



塗りを白色
にする



② 完成！

